

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・「松浦武四郎の安都摩日誌」開催
- ・児童生徒芸術等鑑賞会のお知らせ
- ・中学生海外派遣事前研修
- ・学校閉庁日のお知らせ
- ・厚真町子ども教育委員会のお知らせ
- ・平成30年度成人式について
- ・集まりンピック開催のお知らせ
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

北海道150年記念事業

松浦武四郎の安都摩日誌

7月4日から9日までの期間、幕末の探検家松浦武四郎をテーマに、パネル展や講演会、アイヌ料理試食会、武四郎の足跡をたどるバスツアー、また青少年センター図書室での体験すごろくなど北海道150年記念事業を開催しました。

講演会では約100人の来場があり、松浦武四郎記念館元館長の高瀬英雄氏から武四郎の生涯、人柄、旅についての講演に続き、元北海道教育庁 田才雅彦氏からは、幕末の蝦夷地を取り巻く情勢などについて、乾厚真町教育委員会学芸員からは、160年前の厚真のエピソードが紹介されました。試食会では鹿肉やギョウジャニンニクなどのオハウ（汁物）と武四郎が絶賛した栗団子を試食しました。また、日誌の中で武四郎がそのはたらきに感心したという猟犬と同種の厚真犬との触れあいコーナーも設けられました。

翌日の武四郎の足跡を辿るバスツアーでは、厚真川河口から幌内に至るまで途中にウォーキングをしながら厚和地区キムンコタン跡地、竜神沼、富里地区松浦武四郎之碑、幌内地区シュルク沢などを巡りました。日ごろ何気なく見慣れた風景の中に、学芸員のガイドにより改めて武四郎の歴史に触れた一日となりました。

北海道と命名されて150年。その名付け親の松浦武四郎をキーマンに私たちの厚真町、北海道の歴史と未来をつなぐ事業となりました。実施に当たり多くの皆様のご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。



← 記念講演会



→ 記念碑を見学する参加者

平成30年度児童生徒芸術等鑑賞会

今年度はシエナ・ウィンド・オーケストラ（東京）所属のクラリネット奏者黒岩真美さんと道内の音楽家8名をお招きし管打楽器アンサンブルコンサートを開催します。楽器一つ一つからあふれる音の迫力を間近で感じられる貴重な機会です。一般市民の皆さんにも開放しますので、皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

と き 8月22日【水】
 [午前の部]午前10時20分開演
 [午後の部]午後 1時30分開演
 ところ 厚真中央小学校体育館
 演 目 ◎サウンドオブミュージック
 ◎シングシングシング 他多数
 主 催 厚真町教育委員会
 問合せ 教育委員会 社会教育グループ
 ☎27-2495



黒岩真美さん

黒岩真美さん

PROFILE

北海道出身。国立音楽大学卒業。2001年パリ・ニコル・ノルマル音楽院へ留学。同音楽院クラリネット科1等賞、室内楽科満場一致の1等賞で卒業。以後多数の世界コンクールで1等賞受賞。現在、佐渡裕氏が首席指揮者を務めるシエナ・ウィンド・オーケストラに所属。

ーオーストラリアと日本・北海道は強い結び付きー



グリーン在札幌領事来町



～中学生海外派遣研修事業事前研修～

6月28日、総合福祉センターで講師に在札幌オーストラリア領事館のロナルド・グリーン領事を迎え、平成30年度厚真町中学生海外派遣研修事業の第1回事前研修が行われました。

グリーン領事は、高校・大学時代に北見や札幌で留学生として日本語や文化などを学び、昨年1月から現職に就任。公務の一環として学校訪問などを行いオーストラリア(以下、豪州)の魅力や良さを児童生徒に伝える活動をしており、今回、本町の中学生が訪問するため実現したものです。研修では、「豪州はアボリジニーの先住民が住んでいたことや風土も北海道に似ており、石炭や牛肉を日本に輸出し日本と結び付きが深い国」「豪

州では水は貴重。シャワーはできるだけ短く」「オーストラリア人は日本のことに興味を持っているので、おくすることなく積極的に話しかけてみて」と流ちょうな日本語で生徒に話しかけ、生徒たちは豪州への思いや期待を膨らませていました。

事前研修は4回行われる予定で、海外派遣研修に厚真中学校生徒8人、厚南中学校生徒7人計15人は、8月7日から5泊6日の日程で豪州へ旅立ち、学校訪問やホームステイを行うことになっています。



町内小中学校では 夏季休業中「学校閉庁日」を設けます

本年度から、厚真町立小中学校に次のとおり夏季休業中に学校閉庁日を設けます。
この期間、学校には教職員が不在になります。
学校への問い合わせや転出入の手続きなどは、学校閉庁日以外の日に行ってください。

【学校閉庁日】

平成30年8月13日(月)～15日(水)の3日間

【学校閉庁日を設ける目的】

- ・教職員の心身の健康増進及び休暇取得の推進(ワークライフバランスの向上)
- ・夏季期間における省エネルギーの推進

【その他】

- ・緊急時の場合は、学校が提示する連絡先又は下記の学校教育グループに連絡してください。
- ・部活動も、特別な事情がある場合を除き、原則として実施しません。
- ・学校プール並びに学校開放による体育館の使用もこの期間はできません。
- ・冬季休業中の平成31年1月4日(金)も閉庁日になります。

【問い合わせ先】

教育委員会 学校教育グループ (☎27-2494)



秋季自治会対抗パークゴルフ大会

教育委員会では、秋の自治会対抗ナイターパークゴルフ大会を開催します。

- と き 9月6日【木】午後6時から開会式
 ところ 新町町民パークゴルフ場
 参加料 無料
 その他 チーム編成等の詳細については、教育委員会へお問い合わせください。
 締切り 8月27日【月】
 申込み 教育委員会社会教育グループ
 ☎27-3775
 (スポーツセンター)



平成30年度成人式

平成30年度の厚真町成人式を次のとおり開催します。なお対象の方には11月に案内を送付します。

- と き 平成31年1月13日【日】
 午前11時から
 ところ 厚真町総合福祉センター 大集会室
 対象 平成10年4月2日から平成11年4月1日の間に出生し、本町に住民票を置いている方及び本人が町外へ転出している方、保護者などが本町に在住している方
 問合せ 教育委員会
 社会教育グループ
 ☎27-2495



6月定例教育委員会

6月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項
 厚真町学校給食センター運営委員会について、第1回厚真町学力向上推進委員会について、中学生海外派遣研修事業生徒・保護者・引率者合同説明会について、北海道厚真高等学校教育振興会総会について、厚真町スポーツ推進委員会議について（ほか8件）
 ◆議案
 平成30年度厚真町育英資金の貸付けについて（1件）
 ◆協議事項
 厚真町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について（1件）
 ★問合せ
 教育委員会学校教育グループ
 ☎27-2494

第4回厚真町「子ども教育委員会」

今年度は「アウトメディア運動」をテーマに厚真町「子ども教育委員会」を開催します。一般公開いたしますので、どうぞご来場ください。

- と き 7月30日【月】
 午後1時30分から午後3時30分
 ところ 厚真町総合福祉センター2階 青年室
 参加者 小学校児童会役員、中学校生徒会役員
 問合せ 教育委員会 社会教育グループ
 ☎27-2495

第18回集まりんピック開催のお知らせ

今年の集まりんピックは、北海道150年を記念して参加自治会には焼肉用牛肉（厚真和牛）をプレゼント！！

ご家族・ご友人などお誘い合わせの上、ぜひご参加ください！

- と き 8月19日【日】午前9時～
 ところ かしわ公園野球場（雨天時はスタードーム）
 競技 ①生み出せ！ファインプレー♪（一般男女）②ムカデ大レース in 厚真（一般男女）
 ③どうぶつ合わせ（幼児&シルバー）④ダービー（一般男女）
 ⑤Shall We PARK?（シルバー）⑥大玉ころがし（小中学生）
 ⑦チャレンジ・ザ・ギネス（自由）⑧サイコロラッキーゲーム（全員参加）
 ⑨つないでつないで（一般男女・子供・シルバー）⑩借り人競争（小学生）
 ⑪玉入れ‘GOLDEN’（一般男女）⑫落とさず運べ（小学生）⑬混合リレー（年代別男女）
 問合せ 教育委員会社会教育グループ
 ☎27-3775（スポーツセンター）



図書室でこんなことをやりました

北海道 150 年記念事業

「松浦武四郎と安都摩日誌」関連資料展示

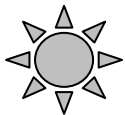
講演会に合わせて、図書室で所蔵している資料を展示しました。普段は郷土資料コーナーに配架している資料ですが、いつもよりかしこまったラベルと並べ方で、「こんな本もあるんだね」と手に取っていただきました。

入手しにくい貴重な資料は館内でご覧いただくだけで、そうでない資料は貸出できますので、ご利用ください。

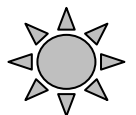
「武四郎さんの安都摩探検すごろく」

「安都摩日誌」を参考に作ったすごろく、マス目の指示など本気で取り組むと10分くらい時間がかかる130マスの大作になってしまいました。小さいお子さんには普通のすごろくとして、小学生にはクイズとミニゲーム、大人は「なるほどねー。」とそれぞれ楽しんでいただけてよかったです。

サイコロが思ったより大きな音を出していたため、その場に居合わせた図書室利用者の方にご迷惑をかけてしまいました。申し訳ございませんでした。



今年もやります！海のとしょしつ



今年も浜厚真海岸に図書車を持ち込んで、「海のとしょしつ」を開きます。波の音を聞きながら絵本と本を楽しむイベントです。気持ちよい潮風にふかれながら読書を楽しんでみませんか？

日時：8月2日（木） 10時～14時まで ※雨天中止

青少年センターから8月のお知らせ

プラネタリウム

○投影日時

- ・毎週火曜日 15時30分～
- ・毎週土曜日 13時30分～

○投影内容

- 1 夏の星座解説
- 2 南極の星空

※グループ、団体などご利用を希望の際は、事前にお問い合わせください。



惑星観望会 —土星・火星を見よう—

と き 8月17日(金)

19時～20時30分

※天候不良の場合は、プラネタリウムでの星空解説を行います。

ところ 青少年センター天文台

※夜間開催のため、小・中学生の参加は、保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

世界の昆虫展 ルーブル絵画展

(複製画)

と き 7月26日(木)

～8月19日(日)

9時～17時

(火・木は19時まで)

ところ 青少年センター

2階ホール・ギャラリー



お問い合わせ先：教育委員会社会教育グループ

☎27-2495



新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

一般書

『 能登花嫁列車殺人事件 』
西村京太郎/著

御年87歳の西村先生は、現在でも毎月数冊小説を出版されており、当図書室では全て網羅することは到底できませんが、利用状況を鑑みて毎月1, 2冊は選書してまいります。湯河原にある西村京太郎記念館では日曜日に西村先生のサイン会が催されています。「会いに行ける作家」のサイン会、一度は参加してみたいものです。



- ・がいなもん松浦武四郎一代 河治和香/著
- ・傍流の記者 本城雅人/著
- ・ストーブ列車殺人事件 西村京太郎/著

児童書

『 うさぎのマリーの
フルーツパーラー 』
小手鞠るい/作

森にすむ動物たちはマリーさんが作ったきれいなフルーツパフェが大好き。いつも楽しみにしていたのに、ある日突然お店がお休みになってしまいました。マリーさんに何かあったのかな。読み終わると、自分でもパフェが作ってみたいくなる優しい絵とお話の本です。



- ・ようかいとりものちょう8巻 大崎悌造/作
- ・最新クラフトウォーズ 学研プラス/編
- ・昆虫の体重測定 吉谷昭憲/文

実用書

『 魚のさばき方大事典 』

「釣ってきたよ、おすそ分け！」と鮭一匹もらったらどうしますか？大丈夫です。この本を見れば60種類の魚と貝がさばけるようになります。魚料理も掲載されていますが、大名おろし、三枚おろし、ぶつ切りといったさばき方に重点を置いているので、読んでいてだけでどんな魚もさばけそうです。ホッキ貝が掲載されていないのが残念な所です。



- ・から揚げは、「余熱で火を通す」が正解！
上田 淳子/著
- ・昆虫のすごい世界 丸山宗利/著
- ・素敵な石ころの見つけ方 渡辺一夫/著

絵本

『 おさかなどろぼう 』
いしいひろし/作

ネコさんはおなかですいても魚をとりにいきません。おいしく料理されたところをどろぼうしていただくのです。今日のターゲットはクマさんが持っている大きなお魚。おいしく焼きあがったところをぬすめるかな。みんなは分けてほしい時は口に出しておねがいしようね。



- ・おしっこちょっぴりもれたろう
ヨシタケシンスケ/作
- ・へんしんたんてい あきやただし/作
- ・まわるよる ツペラツペラ/作



～図書室からのお知らせ～



■8月の休館日

11日(土) 山の日

青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

■8月の移動図書

- ・上厚真小学校
24日【金】午前10時00分～10時30分
- ・ともいき荘
17日【金】午後2時00分～2時30分

- 絵本の読み聞かせ会 おはなしのびっ子
日時：23日【木】午前10時30分～
場所：青少年センター 絵本コーナー

☆放課後子ども教室☆

北海道にも梅雨前線到来か、と思うような長雨。おひさまの顔を忘れてしまいそうなほど雨の日が続き、傘と長靴が手放せない夏の始まりとなりました。自然災害や、農産物への影響が大きく出ないことを願うばかりです。

放課後子ども教室6月後半の活動では、体を動かしながら子ども同士のコミュニケーションを図るミニ運動会、学校周辺の身近な植物に触れる自然体験プログラムや、葉っぱスタンプエコバック作りを行いました。ミニ運動会では、引いたくじの内容で走り方が決まるリレーや、新聞紙を丸めてボールを作り、虫とり網でキャッチする玉入れ、パン食い競争ならぬお菓子食い競争など、運動が苦手な子どもでも積極的に参加できる競技を実施しました。白熱した戦いに子どもたちも大盛り上がり。勝ったり、負けたり、勝敗にこだわる遊びも、子どもたちの心が成長する体験のひとつとして、必要だと考えています。負けて悔し涙を流した子どもも、最後はおやつを食べながらニコリ笑顔で互いの健闘をたたえあいました。

自然体験プログラムでは、子どもたちが3~4人のグループに分かれ、スタッフが作成した『お宝リスト』を手に、身近な植物を探し集める遊びを行いました。ヤマグワやコブシの木の葉や、モミジやカエデのプロペラ型をしたタネ、四葉のクローバーを見つけてくる子どもたちもいました。途中、ひとりが「これ見て！」と差し出してきたケースの中には、数種類のアリの姿が。植物探しをしていたら、木にアリがのぼっていて、そこからアリが気になって集めてきたとのことでした。好奇心旺盛な子どもたちは、少しのヒントでたくさんの“不思議”や“面白い”を見つけてきます。最終的に、その子に渡したケースの中には、お宝リストに載っているものはひとつも入っていませんでしたが、植物探しから小さな生き物に視点に移り、自分が面白いと思えるものを見つけられたことが宝物なのだと思います。今回は植物をテーマに活動をしていましたが、次回は生き物を通して身近な自然を体感するプログラムを企画したいと思います。身近な自然を感じるプログラムとして、葉っぱスタンプエコバックを作りました。葉っぱの裏に絵の具を塗り、エコバックの上にペタペタとスタンプをしていきます。自分の手も赤や黄色の絵の具に染めながら、それぞれの発想力を活かした素敵なバックができあがりました。

7月前半の活動は、模造紙を張り合わせて作った大きな紙に、サインペンやクレヨン、色鉛筆などの画材を使って自由に絵を描く大ラクガキ大会を行いました。大胆に描き始める子もいれば、画材を使い分けて細かく描く子など、子どもたちの個性が見えてとても面白いプログラムです。

もうすぐやってくる夏休み。7月は雨の影響とヒグマの出没情報により、思うように外遊びができない日が続きました。夏休み明けの8月は、今月の分もたくさん外で遊ぶことができるよう願っています。

